

卒論・修論・ゼミ報告書

令和3年5月20日

指導教員認印

学科・専攻	情報システム工学	学籍番号	1815044	氏名	瀧田孔明
題目	アンビエントコンピューティングによる自動ストレス検知に基づいたアプリケーション開発				

報告日までの取り組み

PDCAサイクル	設定目標 (P)	まずは、ウェアラブル装置の小型化を完成させプログラムでエラーが出たところを修正するところまで目標を立てた。
	取組内容 (D)	今回は、装置の小型化をある程度終わらせてストレス検知のアプリケーション化という大まかな研究内容を決定した。
	課題整理 (C)	課題は、それぞれのセンサが何のために使用されているのかを確認すること、ストレス検知をするにあたっての理論を考える。
	改善方策 (A)	センサの用途については、江崎さんの卒業研究からそのように使われているのかを確認する。また、理論については自分と似たような論文を探してみてどのような理論を使っているか確認してみる。

報告日

や り き る や り た い こ と の よ う	コメント (出席者)	
	備忘録 (自分)	